

京都総評



京都地方労働組合総評議会：発行

第 298 号

発行所
京都市中京区壬生仙念町30-2 ラポール京都5階
京都地方労働組合総評議会（京都総評）
電話 075 (801) 2308 FAX 075 (812) 4149
E-mail sohyo@labor.or.jp URL https://www.labor.or.jp/sohyo/
〈発行責任者〉 梶川 憲 〈編集責任者〉 吉岡 勝

京都労働相談センター

電話 0120-378-060 E-mail scent@labor.or.jp

主な日程

2025年新春旗びらき

1月6日(月) 18:00 からすま京都ホテル

25春闘スタート宣伝

1月7日(火) 8:00 四条烏丸

京都春闘共闘討論集会

共闘発足総会 2024年12月7日 ラポール京都



あいさつする
梶川議長(上)

熱心に話を聞
く参加者(左)

25春闘討論集会開く

労働組合の力で 大幅賃上げ!

ユニオン

パワー

2025京都春闘共闘会議発足総会、2025京都春闘討論集会を12月7日にラポール京都ホールで開催し、75人が参加しました。
最初に京都春闘共闘会議の発足総会で2025京都春闘共闘会議の発足を確認したあと、討論集会に移りました。討論集会では、全労連の秋山正臣さんが「25春闘をどうたたかうのか」について講演。25京都春闘方針案の提案のあと全体討論を行い、25春闘勝利に向けてスタートを切りました。

労働組合の交渉力を通じて大幅賃上げ

25京都春闘方針案では、「24春闘では、29年ぶりのベア8000円台を引き出した。賃上げを求める私たち取り組みが情勢を切り拓いてきた成果。公務員賃金引き上げに向けて、23秋闘から取り組みを開始した『官民総がり行動』は、民間の賃上げに続く公務員賃金引き上げの流れを生み出している」と総括し、「25春闘は、24春闘で生み出した賃上げの流れを加速し、労働組合の交渉力と社会的賃金闘争の強化を通じて大幅賃上げを勝ち取る」と提起しています。

そのために、「組合員一人ひとりの主体性を高め、労働者との『対話と学び合い』を追求し、組合員一人ひとりの困難・問題意識から出発し、どう勝ち取るかを当事者である組合員とともに練り上げ、仲間を増やして、団体交渉やストライキなど労働組合の交渉力を高めてたたかう」という「要求実現の求心力で仲間を増やす」活動をすすめていこうと呼びかけています。

また、「京都総評には多様な産業の労働組合と地区労協が参加し、多様な戦術・戦略を交流することが出来る」「単産と地域の情報を結び、相互交流・相互研鑽をすすめる」「多様な経験から学び、新たな課題に挑戦する」という運動のプラス循環をめざす「春闘を通じて労働組合のさらなるバージョンアップをすすめる、労働組合が職場と社会を変える希望であることを大いに社会に発信しよう」と提起しています。

25春闘への決意あふれる討論

春闘方針案の提案を受けた討論では、単産・地区労協から18人が発言。「物価高に負けない賃金として誰でも3万4000円以上をめざす。一時金格差是正、退職金引き上げも要求していく」「(建交労)、「24春闘では1万7000円のベアを獲得した支部や6回団交を重ねて改善を勝ち取った支部など奮闘した。25

春闘もベアを重視して取り組む(化学一般)、「24春闘は31年ぶりに5桁の賃上げを実現した。25春闘ではすべての仲間の賃上げをめざしてたたかう(JMITU)、「医療・介護は賃上げが周回遅れになっている。診療報酬・介護報酬の再改定を求めるとともに、経団連・財務省などへの行動を強めて、予算増をめざしてたたかう(医



25春闘勝利めざしてガンバロー!

ジェンダー平等の学習すすむ

大いに議論しよう!

ジェンダー平等宣言案

京都総評ジェンダー平等推進部は、12月7日の京都春闘討論集会で京都総評ジェンダー平等宣言(第二次案)を公表しました。

宣言案については、京都総評定期大会以降、様々な単産から学習会の要請や執行委員会での議論の内容が寄せられています。

学習会は、部会メンバーを講師に、宣言案の組み立ての解説や、労働組合としてジェンダー平等を推進するための制度要求を職場から展開していくことの意義、ジェンダー平等の課題に気づくヒント

として、身近で経験するアンコンシャスバイアスについてなどを紹介し、合わせて議論を呼びかけていく意見があり、「すべての取り組みにジェンダー平等の視点を貫く」とのことの一文を加え、賃金格差是正、労働時間短縮などめざすことを1項目に記載しました。

以下は宣言案、ジェンダー平等推進部の提案として、9月の大会以降、別紙や別紙での議論を付けて、あわせてあつた大会での話し合いをすすめていくこと。また、宣言案の作成にあたっては、各単産の労働組合から意見を伺い、必要に応じて調整を行いました。また、宣言案の作成にあたっては、各単産の労働組合から意見を伺い、必要に応じて調整を行いました。

1月の臨時大会での採決をめざして単産や職場での議論を呼びかけます。

今年、6回目の学生・母子食糧支援を行います。コロナ禍の中(2020年)2020年3年の間に5回開催)新入生としての交流もなく、授業もリモートの中寂しくアパートの部屋に閉じこもる学生を中心に、食糧支援と共に学生同士の交流と母子支援も含めての運動を開催この地方は兼業農家が多く、支援としてお米をいただきます。2020年570kg、2021年1800kg、2022年1000kg、2023年1400kgと多くのお米をいただき、学生・母子さんたちに十分な支援が出来るようになりました。今年も、春先に起こった米騒動のため、毎年支援していただいていた人々からは、「今年は支援するお米がない」という声。また、お米だけでなく、家庭の中で眠っていた食料品も物価高騰する中、在庫がなく提供品が減少。日々の暮らしが本当に大変という状況が実感出来ます。▼自民・公明政権が長きにわたって減反施策を進めてきた結果と物価高騰に対しての無策が運動に跳ね返って来ています。食料支援から見えた現状。自公政権の終焉を!

TUBUYAKI

今年、6回目の学生・母子食糧支援を行います。コロナ禍の中(2020年)2020年3年の間に5回開催)

25春闘をいかに たたかうか

全労連・秋山議長が講演



講演する秋山議長

労働組合主導の賃上げをめぐり、①大幅賃上げ・底上げ、②非正規労働者の要求前進、③要求討議をめぐり、④要求討議をめぐり、⑤価格転嫁実現を求めて労働組合が声を上げること、⑥地域春闘を大事にすること、などを重視し、全国でも京都でも意気高々たたかうと強調されました。

たたかう労働組合のバージョンを

春闘討論集会で全労連・秋山議長が講演し、24春闘を振り返りつつ、25春闘をいかにたたかうのかについて統計資料も使って話されました。

24春闘を振り返り、「大幅賃上げを実現した24春闘。この賃上げの流れをさらに大きくして25春闘へつなげていくことが重要だ」と強調されました。24春闘の賃上げは国民春闘共闘の集計で27年ぶりに1万円台に到達したこと、厚労省の調査で民間主要企業の賃上げ状況は5・33%という水準になっていること、一方で物価高騰に追い付かず実質賃金は6月を除いてマイナスになっていること、などが紹介されました。

24春闘の到達を踏まえ、全労連・国民春闘共闘は25春闘の要求の柱として、①大幅賃上げ・底上げ、②非正規労働者の要求前進、③社会的賃金闘争の前進をめざす、④労働時間の短縮の実現、⑤労基法解体をとめるたたかい、⑥公務・公共体制、⑦社会保障の充実、⑧生活圏での公共の再生、⑨政府の改憲策動を止め、憲法が活かされる社会をめざす、の5つをかかげてたたかうと呼びかけました。

大幅賃上げ・底上げ、非正規労働者の要求前進をめざす25春闘では、①要求づくり、②要求討議をめぐり、③要求討議をめぐり、④要求討議をめぐり、⑤要求討議をめぐり、⑥要求討議をめぐり、⑦要求討議をめぐり、⑧要求討議をめぐり、⑨要求討議をめぐり、⑩要求討議をめぐり、⑪要求討議をめぐり、⑫要求討議をめぐり、⑬要求討議をめぐり、⑭要求討議をめぐり、⑮要求討議をめぐり、⑯要求討議をめぐり、⑰要求討議をめぐり、⑱要求討議をめぐり、⑲要求討議をめぐり、⑳要求討議をめぐり、㉑要求討議をめぐり、㉒要求討議をめぐり、㉓要求討議をめぐり、㉔要求討議をめぐり、㉕要求討議をめぐり、㉖要求討議をめぐり、㉗要求討議をめぐり、㉘要求討議をめぐり、㉙要求討議をめぐり、㉚要求討議をめぐり、㉛要求討議をめぐり、㉜要求討議をめぐり、㉝要求討議をめぐり、㉞要求討議をめぐり、㉟要求討議をめぐり、㊱要求討議をめぐり、㊲要求討議をめぐり、㊳要求討議をめぐり、㊴要求討議をめぐり、㊵要求討議をめぐり、㊶要求討議をめぐり、㊷要求討議をめぐり、㊸要求討議をめぐり、㊹要求討議をめぐり、㊺要求討議をめぐり、㊻要求討議をめぐり、㊼要求討議をめぐり、㊽要求討議をめぐり、㊾要求討議をめぐり、㊿要求討議をめぐり、



青年部

わたしの家計簿 セカンドシーズン！

京都総評青年部事務局次長 春山 未央 京都医労連

京都総評青年部では最低賃金生活体験に2019年から3年かけて取り組んできました。多くの青年が今の京都の最低賃金では最低限の生活は送っても、文化的で健康的な生活は送れないと気づき、社会的な発信を深め、社会的な発信を行って来ました。

さらに運動をすすめるために、「わたかけくわたしの家計簿」と称して家計簿補調査を行うことを通じて自分たちの時給に目を向け、最低賃金が1500円になったら何がしたいか？と希望を持って最低賃金運動に関わるように企画をバージョンアップして今回が2期目になります。

実施期間は2024年9月9日（月）から10月8日（火）の31日間です。方法はシンプルです。グループルームを活用



わたしの家計簿調査より

1ヵ月間終えてみて、最低賃金生活体験と家計簿調査の結果を比較してみても食費にかかる割合はおおきくは変わらない結果となりました。「生きることは、食費を削るには限界がありま

し毎日の支出を家計簿に記録しながら1ヵ月間過ごす。またその中で、京都の最低賃金1000円や最低賃金1500円に上がったら何がしたいか？を考えたこともサブテーマとしました。参加は7産別（合同繊維、京都医労連、JMITU、全国一般、京教組、京建労、全印総連）+αで29人エントリーがあり、そのうち一定の基準を達成した方は15人でした。

府内各地で活発な活動 地区労協のとりくみ

最賃1500円以上の早期実現を！

10月1日、「府内一斉最賃改定周知宣伝」に呼応してアバンティ西側で宣伝行動を行い、4組合6人が参加しました。北村議長が「京都の最低賃金が1058円に改定されましたがこれではまったく足りておらず、多くの方が『ワーキングプア』の状況、今こそ全国

たちが京都で普通に暮らす以外、世帯を比較すると総じて単身世帯の支出が多いこともわかりました。加えて、達成した15人の青年のうち貯蓄ができたのはたった3人でした。最賃近傍で働く青年 本当にお疲れ様でした。

025年度運動方針案の中で、多くの課題の解決、要求事項の実現を掲げている。地労協の組織・活動を強化することも含めて、多くの組合、組合員で議論を含め、活動を展開していく」と呼びかけました。

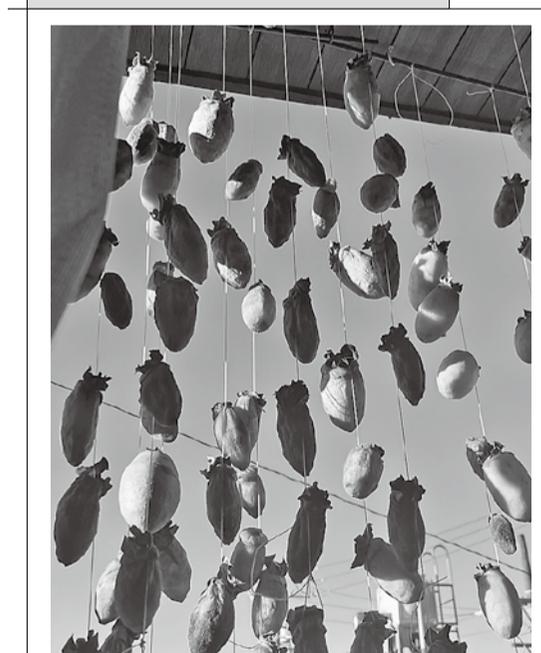
（宮津地労協よりから）

女性部大会開く



大会では、高木りつ全労連女性部長を講師に「ジェンダー平等と男性育休」学習会と少人数のグループ交流等を行いました。コーヒーとお菓子を手に、深刻な人員不足の職場実態や身近なジェンダーまで話し合いができました。代議員等28人の参加でした。

日常のひとコマ



父の手仕事

京都府教職員互助組合職員労組 永井 玲子

家の2階の窓の外で朝日に照らされる干し柿。もつすく80歳になる父が、せっせと皮をむき、干している。父の作る干し柿はふんわり柔らかくて甘くて絶品です。ちなみに私の故郷愛知県額田郡幸田町は筆柿（珍宝柿）の全国生産量の80%を超える産地です。どこの家にも柿の木があるのに、京都へ来た時に柿を買わないと食べられないことに驚きました。今年の柿は生りが悪いですが、来年さらさら人生るのを待ちましょ。

あなたのパシャ写真募集中！

「応募方法」①画像1枚、②タイトル、③コメント1000〜2000字程度、④お名前、⑤所属、⑥プレゼントの送り先を書いて、京都総評までメールでお送りください。掲載された方には図書カード（10000円分）を贈呈します。